

新しい学校づくりに関する意見聴取

1-1 2021 年度のヒアリング調査およびワークショップの実施概要

(1) ヒアリング調査

令和 3 年 6 月の 3 日間、中頓別町小中学校の教職員及び PTA の保護者を対象に、7 名(表 1) に対しヒアリング調査を実施した。ヒアリング調査では、現在の学校の課題と魅力、および理想の学校について意見を聞いた(表 2)。

表 1. ヒアリング調査の実施人数

実施日	人数
令和 3 年 6 月 10 日 (木)	3 名
令和 3 年 6 月 15 日 (火)	4 名
令和 3 年 6 月 16 日 (水)	1 名

表 2. ヒアリングの意見 (抜粋)

項目	内容	
施設環境	理想	こども園と小学校は近いが中学校は遠い。子どもも大人も足を運びやすいところに施設を集約できると使いやすい。
		大きな予算をかけて施設を建設するだけでなく、町民センターなど既存施設を改修して活用することも大事。
		教室は広くゆったりしたスペースで、大きな家のようなつくり。広いスペースに様々なスペースがあり、教師が生徒の状況や授業の内容に合わせて空間を使いこなせると、少人数の強みも発揮できると思う。
		特別支援教室の特性に合わせて配慮しながら、一緒に学びを進めることができるという。
	課題	中学校は老朽化が進んでおり、非常に寒い。冬季は廊下と教室の温度差があり、健康面でも心配。
		小学校は朝から電気をつけることも多いので、明るい校舎であるといい。 図書室は本の数も少ないので、もっと子どもたちが使いたくなる空間になるといい。
学習環境	魅力	放課後プランで勉強を教えてもらい、学力アップにつながっている。
	課題	図書館など子どもが自習したり、集まったりできる場所がない。 近隣に通える塾がないので都市部の子どもと学力の差がつくのではないかと心配。
学力	理想	テストで測る学力は学力全体から見て 1 割の「見える学力」であるが、郷土愛・心を育てる 9 割の「見えない学力」を大事にしたい。受験やテストのためだけに教育しているわけではない。
	課題	子どもたちは学力をつけるほど地域を離れてしまう。しかし、学校は学力を育てなけ

		ればいけないという現実がある。
進路	魅力	子どもたちは「中頓別には仕事がない」と言っていた時期があったが、中学校で職場体験を経験し地元で働くイメージがついた。中野商店など面白い働き方をしている職場も候補になっているのが魅力。
		子どもたちが、自分も将来は地元で暮らしたい、何かやってみたいと思うような生き方を地域の大人たちがみせる必要がある。
	課題	親世代が中頓別では仕事が少なく、起業しても成功できる確率は少ないと考えている。
		町から通える高校進学の実選択肢が少ないことが残念。子どもが都市部の高校への進学を希望した場合、学力だけでなく家庭の経済力も関係してくることも課題。
幼小中連携	理想	こども園・小学校・中学校・高校は全て繋がっている。今はそれぞれ教育方針があるが、さらに連携を図っていくことは大事。 幼小中と一貫して力を入れたいことは自治の力を養うこと。やり切った達成感を積み重ね、自分たちで活動を生み出していく力を育てたい。これは短い期間ではできない。自分たちで自分たちの社会を作っていくという意識を養ってほしい。
	課題	こども園での森での学びや英語教育などの取り組みが、小中学校のカリキュラムと連携していないのがもったいない。
家庭との連携	理想	学校と家庭で生活習慣の改善に一緒に取り組みたい。
	魅力	保護者がボランティアで学校に来ている。読み聞かせや、その学年にあった本の選定などを行っている。
地域との連携	魅力	学校で地域行事に参加する機会があるので、地域との関わりは比較的できている。
	理想	学校の教育は「地域と一緒に育てる」というのが大事。まちのみんなの総意で教育を行う。
	課題	地域と話し合って活動を決定する場があれば、スムーズな連携につながり、子どもにこういう体験をさせてあげたいという思いも地域に伝わると思う。
		学校でやらねばいけないことがある中で地域連携を行うことは大変。打合せに時間を取られたり、学校に役割を任せられてしまうことが課題。
		総合活動を連携して行う場合、12月までに相談できるといい。地域の人はいつでもいいと思っている可能性もあるので、タイミングが重要。

(2) 町民ワークショップ「親子で語って学ぶ生き方ドリル 基礎編」

「親子で語って学ぶ生き方ドリル 基礎編」と銘打ち、全3回の町民ワークショップを開催した。ゲストを招いた講演会や、理想の学校について意見を聞くワークを実施した。



表 3. 町民ワークショップの実施状況と内容

回	日程	内容・テーマ	内容詳細
第1回	令和3年 8月30日(月) 18:00~19:30	地域の先輩たちの生き方の選択は？	地域の人の生き方と中頓別の教育の取り組みについて紹介した。また、相座教育長と studio-L 代表山崎亮による対談を実施した。
第2回	令和3年 9月9日(木) 18:00~19:30	中頓別にあったらいい学びの場は？	軽井沢風越学園の取り組みを参照しながら、中頓別にあったらいい学びの場について話し合い、イメージシートを作成した。
第3回	令和3年 9月24日(金) 18:30~20:00	子どもと一緒に考えるまちの教育	ゲストに、東京大学大学院教育学研究科教授の牧野篤さんにお越しいただき子どもたちの生き方やこれからの教育について講演いただいた。

(3) 教職員ワークショップ

小中学校の全教職員を対象とした新しい学校づくりに関する説明会と、小中学校の教職員数名が代表として参加した全2回の「教職員ワークショップ」を実施した。ワークショップでは、新しい学校校舎や教育施設のハード面や、新しい学校施設で実現したい空間や活動のアイデアについて意見を交換した。

表 4. 教職員ワークショップの実施状況と内容

回	日程	内容・テーマ	検討概要・結果
第1回	令和3年 11月18日(木) 15:00~16:30	説明会	小中学校の全教職員に向け、新しい学校づくりについて説明をした。また、学校の課題や理想、新しい学校づくりへの質問等を記入するアンケートを配布し、後日回収した。
第2回	令和3年 12月3日(金) 15:00~16:30	アンケート質疑応答 施設のハードについて	小中学校の教職員8名が参加。説明会時に配布したアンケートの意見を共有し、疑問や質問に回答した。また、図面を見ながら施設のハードを中心に意見を交換した。
第3回	令和3年 12月17日(金) 15:00~16:00	新しい学校で実現したい空間や活動のアイデアについて	小中学校の教職員9名が参加。図面を見ながら、施設のハードについて意見を交換した。また、空間の使い方や活動のアイデアについて意見を交換した。

表 5. 教職員ワークショップの意見

項目	意見
職員室	職員室の位置を検討し、十分な広さを確保したい
	先生の更衣室もあるといい
	先生方のミーティングルームがあると便利
図書館	PC や ICT に触れる機会があるのいいが、別途 PC 室を設ける必要はないと思う
グラウンド	サッカー・野球などの球技は難しいのではないか
	小中で体育や行事・休み時間が重なると、現状では狭いことが想定される
体育館	カリキュラム上、体育館が 1 カ所では足りなさそう
	第 2 体育館があるといい
	思い切りボールを投げたい子どもの意向も汲み取りたい
	軽スポーツ室があれば集会も開くことができるのではないか
	現状の小学校の体育館で、小中学生がともに使うのは難しそう
	体育館は、小学生と中学生が一緒だと危険ではないか
	現状の器具庫が狭く用具の出し入れがしにくい
バリアフリー	トイレや玄関はバリアフリーに
トイレ	トイレや水回りの改修が必要
	各階にトイレが 2 ヶ所では混み合うのではないか。
	赤ちゃんを乗せられる設備のある多目的トイレがあるといい
保健室	特別支援教室内ではなく保健室内にシャワー室を設けることができるとよさそう
給食センター	給食センターから大きな音が出るため、教室が隣接しないほうがいい
特別教室	家庭科室は町民センターの調理室と共有してはどうか
	図工室・技術室は、木工室として町と共用できそう
	図工美術と技術を分けた方がいい
レイアウト	町民センターや町民体育館など、他施設とつなぐことができるといいのでは
	学年・人数が増えるため、色々な教材をしまう教材室が複数あるといい
防災	現在の中学校を高台の避難所にしてはどうか
	避難所として使えるか検討が必要
	防災の視点から、3F スペースが必要なのではないか
通常学級	現状では、感染症対策には教室が狭い
	1 階教室に避難口があるといい
	感染者対応の部屋が必要
	各学級の間に多目的スペースを挟むのはどうか
	中 1 ギャップよりも小学校から中学校への進級時に気持ちを切り替えられる配慮が必要な場面が多い
	仕切りなどで教室の大きさを自由に変えられるといい
	教師用の棚や収納が充実するといい

	ランドセルの棚・ロッカーの設置場所と数を検討したい
	コート掛けの設置場所を検討したい
	現状では、コンセントの数が足りない
	有線 LAN の設置が必要
	教室内にも手洗い・うがいができる水道設備が必要
	設置する黒板も検討したい
	大きなモニター（電子黒板）やタブレットがあるといい
特別支援学級	間仕切りができるしくみがあるといい
	学年に一人の場合に。教室の数が足りるか心配
	肢体が不自由な子は 1 階のほうがいい
	特別支援学級と普通学級の交流がある間取りが良い
	毎年、学級の人数に応じて特別支援学級・通常学級の位置を入れ換えられるといい
	教室で一人で学習できるスペースがあるといい
	心が落ち着くまで一緒にいられるスペースがあるといい
フリースペース	ソファなどゆったりできる環境があるといい
	オープンスペースの音や温度の管理が難しい
	用途を特定せずいろんな場面で使えるスペースが多いといい
英語	英語の専科室があると便利（授業で移動があると気分転換になる）
	ALT の先生の部屋や、先生と交流できるフリースペースがあるといい。子どもたちが英語に触れられる部屋があるといい
相談室等	登校しづらい子がいれるスペースがあるといい
	普通教室から離れた場所に相談室があるといい。相談室にソファなどゆったり過ごせる環境が整備できるといい。相談室は 2 部屋あるといい
冷暖房 空調	児童玄関の現状のガラス張りは、夏は暑く、冬は寒い
	冷暖房設備が不足している
	暖房は集中暖房が良いのではないかな。木質ペレットはどうか。
その他	こども園の年長の居場所があるといい
	現状、空き部屋が足りない。自由に使える部屋がたくさんあるといい
	生徒会活動を充実させるため生徒会室があってもいい
	更衣室が必要
	みんなでランチができるスペースがあったらいい
	用務員室が必要
	水筒を空で持ってきて、水を汲める給水所があるといい
	掲示物を貼るスペースが少ない。学年の活動紹介などをきれいに掲示できるスペースがあるといい！
	タイルなど外装補修が必要！
	低学年は 1 階が理想、教室近くにトイレがあるといい

(4) 保護者アンケート調査

こども園、小学校、中学校に通う子どもたちすべての保護者に配布し、アンケートに回答いただいた。アンケートでは、①大人になるまでに子どもたちに身につけてもらいたい力、②子どもたちが放課後や休日にできたらいい活動、③新しい学校づくりに関するアイデアについて聞いた。



・調査方法：こども園、小学校、中学校を通じて保護者にアンケート用紙を配布し、こども園および学校を通じて回収した。

・実施期間：令和4年2月15日(火)～2月24日(木)

表 6. 保護者アンケート調査の概要

	配布数	回収数	回収率
こども園	43	25	58.1%
小学校	51	31	60.8%
中学校	26	11	42.3%
全体	120	67	55.8%

保護者アンケートの結果

【質問 1】大人になるまでに子どもたちに身につけてもらいたい力は？

回答方法:82個の選択肢から3つを選択。選択肢がない場合は自由に記述。

表 7. 保護者アンケート「大人になるまでに子どもたちに身につけてもらいたい力」集計結果

票数	選択肢
12 票	好きなもの・ことがある、礼儀正しい
10 票	明るい、健康で体力がある
9 票	協調性がある、へこたれない
8 票	自己表現ができる、親切、責任感がある
7 票	根気がある、柔軟
6 票	人望がある
5 票	温厚、好奇心旺盛、根性がある、自己主張ができる
4 票	意欲的、友達が多い、冷静
3 票	頭の回転の早い、よく笑う、社交的、素直、創造的
2 票	家庭的、寛容、行動的、ごきげん、直感的、勉強がよくできる、 みんなから可愛がられる、よく気がきく、前向き
1 票	愛想がいい、アイデア旺盛、おおらか、穏やか、公平、効率的、地道、正直、正義感が強い、善良、 忠実、ユーモア、ユニーク、野生的感覚、嫌なことは断れる、臨機応変、嘘をつかない、感謝できる人、 ポジティブ、誠実、謙虚、思いやり、機転が利く、やさしい、考える力、自分軸でいる、落ち着きがある、忍耐力
0 票	一流を目指す、大雑把、革新的、寡黙、起業家精神が旺盛、器用、競争心がある、芸術的、国際感覚が豊か、 心が広い、腰が低い、従順、慎重、清貧、積極的、単純、テクノロジーに精通している、独立心が強い、 何事も早くやれる、のんびり、博識、控えめ、人懐っこい、人の注目を浴びる、批判精神がある、平凡、 冒険心がある、保守的、マイペース、負けず嫌い、まじめ、野心的、勇敢、陽気、楽観的、リーダーシップを発揮する、理性的

根気がある 根性がある 忍耐力

嫌なことは断れる

地道

へこたれない

忠実

協調性がある

責任感がある

素直

正義感が強い

公平

柔軟

機転が利く

冷静

落ち着きがある

みんなから可愛がられる

謙虚

嘘をつかない

正直

よく気がつく

臨機応変

変える力

友達が多い

誠実

礼儀正しい

親切

頭の回転の早い

人望がある

善良

船長がよくできる

明るい

健康で体力がある

よく笑う

温厚

社交的

好きなことがある

やさしい

ごきげん

愛想がいい

寛容

思いやり

自己表現ができる

自己主張ができる

自分軸でいる

ユニーク

ポジティブ

ユーモア

好奇心旺盛

意欲的

前向き

創造的

アイデア旺盛

行動的

直感的

野生的感覚

効率的

おおらか

穏やか

内容
ITが発達してきたことで、人間な直感力や感性が重要になると思う。いつもご機嫌でいられたら、人生楽しいし、ひらめきやアイデアがたくさん出てくると思う。
自分が大切にしたいことを一生懸命やった経験は、大人になった自分に生かされると思う。
これからどのような社会になっていくか予測ができないので、どんな社会になっても人と協力して、対応したり考えたりしながら幸せに生きてほしいと思ったから。
自分の思い描く人生になるように、余計なことには左右されず前を向いて限りある人生を全うしてほしい。
人間的で自然の力を信じて、生命力あふれる様に生きていければ、なんでもできると思う。
人に対して（人以外でも）礼儀正しく、親切にできるなら、大人になっていく上でとても大事だし良い事だと思う。
明るく前向きに色々なことに興味をもってがんばれる人になってほしい。
健康で体力があると何にでも取り組めるから。好きなもの・ことがあると、自分の将来の夢を持つことができると思ったから。根性があれば、ちょっとしたことでへこたれないと思ったから。
社会に出た時、どんな困難な場面においても乗り越えてほしい。

将来、社会に出たら必要だと思ったから。
何事も素直で正直にまじめに取り組める人は必ず誰かが見てくれていると思う。うまくいなくても、最後まで責任を持てる人になってほしい。
よく考え、行動し生きていく力を身につけてほしい。
自分の考え方にとらわれず、人の意見を聞くことができるようになってほしい。

【質問2】子どもたちが放課後や休日にできたらいい活動は？

回答方法：15個の選択肢から3つを選択。選択肢にない場合は自由に記述。

表 9. 保護者アンケート「子どもたちが放課後や休日にできたらいい活動」集計結果

選択肢	票数	割合
運動をする	43	22.6%
自然体験をする	29	15.3%
国際交流する	19	10.0%
本を読む	18	9.5%
ものづくりをする	17	8.9%
アートにふれる	14	7.4%
楽器を演奏する	12	6.3%
みんなのご飯を作る	12	6.3%
塾で勉強する	9	4.7%
映画を見る	8	4.2%
地域外の人と話す	3	1.6%
地域の先輩と話す	2	1.1%
地域の人を招いた発表会	2	1.1%
カフェでくつろぐ	1	0.5%
ゲームをする	1	0.5%

表 10. 保護者アンケート「子どもたちが放課後や休日にできたらいい活動」回答理由(抜粋)

項目	回答理由
運動をする	特に冬は雪遊び以外に体を動かす場がないので、体育館開放などがあると助かる。
	子ども達が自由に集まって遊べる、天気によ左右されない場所がほしい。
	運動をして丈夫な身体づくり、健全な精神を育んでほしい。
自然体験をする	森のこども園をいつも楽しみにしている。小さいうちから(親子でもいいので)自然の中で活動できるイベントがもっとあると嬉しい。
	中頓別には素晴らしい自然があるので、実際に体験して感じてほしい。
国際交流する	異文化交流をする中で、自己表現ができるようになってほしい。
	将来のため、視野が広がると思うので、国際交流もできると良いと思う。
本を読む	図書館は町の図書館の充実も兼ねて設置してほしい。
	子どもたちの身近な場所で本に触れたり、勉強できたりする空間があればいい。
アートにふれる ものづくりをする	アートやクリエーション文化的な事が中頓別に少し足りないと思う。
	感性をみがいてほしい。
	中頓別は映画館や美術館などが遠い。様々な文化に触れてほしい。
楽器を演奏する	小学校の音楽の授業では色々な楽器に触れる機会が少ない。
みんなのご飯を作る	共働きでなかなか子どもに調理を教える時間が取れないので、調理の機会があると助かる。
塾で勉強する	子どもが、家より放課後子どもプランでみんなと勉強する方がはかどると言っている。低学年から塾のような学べる所があるといい。
地域の先輩と話す	高齢の方々と話す事で、昔の知恵を授かり、歴史を知って感じてほしい。
	中頓別町が持つ魅力に触れたり、再発見したりする体験は重要だと思う。
その他	学校生活や家庭では、デジタルに触れる機会が多いので、放課後や休日はアナログ体験を通して、感性豊かに育んでほしい。
	休日、身体をもてあましているの、色んな体験ができるといい。
	親がなかなかさせてやれないことなので選択した(2)。
	1人で体験に出せる安心感やサポートがない。差別なく体験をさせてあげたい。

【質問 3】新しい学校づくりに関するアイデアがあればお教えてください（自由記述）。

表 11. 保護者アンケート「新しい学校のアイデア」（抜粋）

項目	内容
教育内容	ITが発達してきたことで、個性がより大切になってきたように思う。各々が好きなスタイルで、得意な分野を深く学ぶ時間があるといいと思う
	生徒の主体的な学びを促す教育システム
	子ども達が自主的にいろいろな活動ができる学校
	現在、幼・小・中と英語体験や教育がされているので、「国際交流、国際理解」にも力を入れてほしい
	eスポーツを取り入れると面白そう
	ものづくりができる
目指す学校像	毎日行くことが楽しくなるような学校(5)
	色々な事を体験できる学校(2)
	価値観を豊かに、視野を広げられる学校
	勉強を楽しみと思えて、学力もしっかり身につけられる学校
児童生徒の交流	異年齢の交流
地域との交流	地域性も考慮した地域に開けた学校
	世代間交流ができる学校。子どもと教員のみでの関わりではなく地域の方と関わるカリキュラムがあるような開かれた学校
	町民（大人、年齢問わず）も入って参加できる場、行事、学び方
	障がい、個性を学ぶ時間を保護者、地域の方を交えて学ぶ機会
教職員	小学校の先生方の指導や対応がとても良いので、今の雰囲気も大切にしてほしい
	先生方が一丸となって教育に取り組める学校
設備全体	木の温もりを感じる設備
	明るく、温度調節が優れた教室
動線	子どもが自分の持ち物を整理整頓しやすく、動線が効率良い（無駄が少ない）、動きやすく健康に過ごせる学校
	教材等の置き場が圧迫されない学校
図書室	図書館は、様々な用途（人が集まる、研究する、発表する、趣味を楽しむ、ディスカッション、景色を見ながらゆっくりする）に活用したい
	地域に開けた場所になったらいい。図書館の一般開放や町の図書館との合併など
	図書の充実
多目的スペース	以前のように友だちと集まって話ができる場所があるといい
	フリースペース（交流できる、自由に使える）場所があるといい
相談	子どもが悩みを気軽に相談できるような場所があるといい
	こども園や小学校の時点で発達の問題や学習障害、不登校、家庭の問題など発生した場合、中学3年生まで継続した支援ができる環境があるといい。カウンセリングルームがあって誰でも気軽に話しに来れる場所もあるといいと思う
運動設備	「運動」もできる機会も自然と体が動かせるような遊具や設置も備えてほしい
	体育館にボルダリングを作る。校庭にスケートボード練習場をつくる
防災	避難（防災グッズ）が計画に備蓄されているといい

(5) 新しい学校をつくろう あったらしいな展

新しい学校づくりに関する説明パネル、これまでに出了意見、子どもたちが制作した作品を展示した。また来場者には、展示を見ながら考えた新しい学校にあったらしい施設やアイデアを聞いた。



表 12. あったらしいな展 概要

項目	詳細
日程	令和 4 年 3 月 11 日(金) 16:00～20:00 令和 4 年 3 月 12 日(土) 10:00～17:00 令和 4 年 3 月 13 日(日) 10:00～17:00
場所	町民センター ロビー
イベント概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい学校づくりに関する説明パネルの展示 ・ これまでのヒアリング、ワークショップ、アンケートで出された意見の展示 ・ 「こんな学校あったらしいな」をテーマに子どもたちが制作した作品の展示、ならびに作品の表彰式 ・ 出張なかとん塾

(6) 中学校ワークショップ

中頓別中学校の 1、2 年生を対象に、授業の時間を利用してワークショップを開催した。ワークショップは、Zoom を使用しオンラインで開催した。ワークショップでは、現状の 1 日の使い方、理想の放課後の過ごし方などについて意見を聞いた。

表 13. 中学校ワークショップ概要

学年	日程	参加人数
中学 1 年生	令和 4 年 3 月 22 日(火) 10:40～11:30	6 名
中学 2 年生	令和 4 年 3 月 22 日(火) 11:40～12:30	9 名

あったらいい展、中学校ワークショップで聞かれた小中学生の意見

表 14. 小学生の意見「中頓別小学校の良いところ」

項目	意見
自然	春になると桜がきれい
	春夏秋冬は花畑がきれい（花がきれいという意味）
	虫や動物がまわりにいっぱいいる
	自然にかかわる授業がある
	中小の近くに川や林、山
	自然で遊べる
	自然が豊か
あいさつ	皆があいさつできる
	あいさつハイタッチ運動
仲良し	ゆずり合い
	みんなの仲がいいし、協力しあえる
	勉強を教えあったりして助け合える
	説明を協力してくれる
	いじめが少ない、けんかが少ない、悪口がない
	優しい
	みんなが明るく思いやりの心を持てる
	お互いに協力したり気持ちを分かり合ったりして仲良くできる
	他学年でも仲が良い
	みんなで楽しめる雰囲気
	1年生がかわいい
	会話が弾む、トークの内容がいい
休み時間	休み時間が楽しい
	休み時間はまるで笑い劇場
	遊びが楽しい
給食	水がおいしい
	給食が美味しい
	健康に良い物が出る
	給食の鶏肉が美味しい、カレーが美味しい
元気・明るい	元気
	楽しい
	にぎやかで明るい雰囲気
	みんなが面白い
	いつもみんなが笑顔

	個性豊か
	みんなが面白い
チャレンジ	なんでもやってみることができる
	積極的に取り組んでいる
	なんでも諦めないところ
行事	中小フェスティバル
	学芸会
	芸術文化鑑賞
	運動会のよっちゃん
	好きな行事がある
校舎	校舎はたくさんの遊具があるから全校も楽しめる
	廊下にポスターがいっぱい貼ってあるところ
	オープンスペースに卓球があるから楽しい
	色んな物がある
	体育館が広いこと
	ボールがいっぱいある
勉強	勉強があきない
	頭が良くなる
先生	先生が優しい
	先生の教え方が上手、先生の説明がわかりやすい
	先生が僕たちの意見を聞いてくれる
その他	廊下を走れること
	一度集中したらとまらない
	好きなことができる
	かえるのが楽しい
	学校のルールに気を付けている
	スキーが上手

表 15. 小学生・中学生の意見「理想の学校に関するアイデア」

項目	アイデア
校舎	屋上庭園で植物や野菜を育てる
	雪や雨の日も遊べるとても広い体育館やプレイルームがある
	蛇口からジュースが出る
	プールがある
	温泉がある
	窓がたくさんある校舎
	ゴールドでできた校舎
	大きな雪のすべり台があったらいい
	広い教室がある
	透明な教室

	一人ずつ個室がある
	季節ごとの飾り付けがある
	遊園地がある
	水族館がある
	お菓子でできた校舎
	カラフルな校舎
授業	好きなところで好きなことを勉強する
	あったらいい授業
	・1日中森で生き物観察する
	・1日中運動する
	・生き物について知る
	・プログラミング
	・自然とふれあう（森で学ぶ）
	・絵を描く
	・ゲーム、eスポーツ
	・料理
	・いけばな
	・手芸
	・ふるさとの歴史
	校内中にあるソファや椅子で好きな格好で勉強する
	1日中運動する
	授業はなしで1日中休み時間だったらいい
	先生も選べたらいい
	宿題がなかったらいい
給食	自分の好きなごはんを選べる
	給食を作る様子が見られる
休み時間	動物と触れ合う
	1～6年生がたくさん交流ができる
	秘密基地みたいな小屋で1人になる
	ハンモックでくつろぐ
	たくさんの遊具で遊ぶ
	あったらいい遊具
	・スケートボードの坂
	・ターザンロープ
	・トランポリン
	・クライミング
	・大きな絵を描ける壁

	・ボールプール
	・泥んこエリア
	みんなで YouTube をみたり、ゲームをして遊びたい
放課後	クラブが 100 種類ある
	放課後に取り組みたいこと
	・ガラス細工
	・音楽（ドラムなど）
	・スノーボード
	・美術
	・アニメ
	・ゲーム
	・謎解き
	・生き物
	・お店部（屋台をだす）
	・バスケ
	・卓球
	・語学
	・カフェでくつろぐ
	大谷選手に（プロに）野球を教えてもらう
行事	学校でお泊まりする
	いろんな大会をする

1-2 2021 年度のまとめ

これまでのヒアリングおよびワークショップで出た意見のうち、子育てや教育に関わる魅力や課題をまとめた。

図 2. 子育て・教育に関わる魅力や課題のまとめ

